

# Peoplecert.AIOps-Foundation.v2025-08-14.q14

試験コード:	AIOps-Foundation
試験名称:	DevOps Institute AIOps Foundation V1.0
認定資格:	Peoplecert
無料問題数:	14
バージョン:	v2025-08-14
アクセス数:	107
ページビュー数:	140
<a href="https://www.jpnpdf.com/Peoplecert.AIOps-Foundation.v2025-08-14.q14-mondaishu.html">https://www.jpnpdf.com/Peoplecert.AIOps-Foundation.v2025-08-14.q14-mondaishu.html</a>	

## 最新問題: 1

AIOps 戦略はどのように扱うべきでしょうか？

- A. 戦略は必要ありません
- B. 特定のチームのニーズに焦点を当てる
- C. 経営幹部の承認のみ
- D. 明確な文書とすべての関係者からの賛同を得て

**Answer: D (メッセージを残す)**

効果的なAIOps戦略は、明確な文書とすべての関係者の賛同を得て策定されるべきである。包括的な文書化によって戦略の十分な理解が確保され、ステークホルダーのエンゲージメントによって組織全体にわたる連携と支援が促進されます。この包括的なアプローチは、戦略の成功と組織目標との整合性を促進します。

## 最新問題: 2

ITOA と AIOps の主な違いは何ですか？

- A. 受動的から能動的へ
- B. 情報源としてのビッグデータの必要性
- C. システムの回復力を向上させることができます
- D. IT運用関連

**Answer: A (メッセージを残す)**

IT運用分析 (ITOA) は、ITシステムからデータを収集・分析し、運用に関する洞察を提供することに重点を置いています。ただし、その性質上、問題が発生してから対処するリアクティブ型です。

AIOps は、AI と機械学習の技術を採用して ITOA を超え、潜在的な問題、異常、傾向を、重大になる前に積極的に特定し、予測的かつ予防的なアプローチを可能にします。

主な差別化要因は、「事後対応型から事前対応型へ」の移行であり、これにより IT チームはより効果的に問題に対処し、ダウンタイムを削減できます。

DevOps Institute の資料では、この変革が AIOps 導入の基礎となることが強調されています。

**最新問題: 3**

事前に定義された構造や形式を持たず、通常はテキスト中心のコンテンツの形式をとるデータは、通常次のように説明されます。

- A. 半構造化データ
- B. 非構造化データ
- C. 時系列データ
- D. 構造化データ

**Answer: B (メッセージを残す)**

非構造化データは、事前に定義された構造や形式を持たず、多くの場合、文書、メール、ソーシャルメディアの投稿、マルチメディアコンテンツなど、テキスト中心です。データベース内の固定フィールドに格納される構造化データとは異なり、非構造化データはリレーショナルデータベースにうまく適合しません。DevOps InstituteのAIOps Foundationコースでは、IT運用における非構造化データの処理の課題と重要性に焦点を当てています。非構造化データには、意思決定と運用効率を向上させるための貴重な洞察が含まれているためです。

**最新問題: 4**

一貫した入力を与えられても、異なる出力が生成される可能性があるシステムは次のように呼ばれます。

- A. ランダム
- B. アルゴリズム
- C. 確率的
- D. 決定論的

**Answer: C (メッセージを残す)**

確率的システムとは、固有のランダム性または確率的意思決定メカニズムにより、一貫した入力であっても異なる出力を生成する可能性があるシステムです。

この動作は、同じ入力に対して常に同じ出力を生成する決定論的システムとは対照的です。

確率システムは AI/ML モデルで一般的であり、結果は統計的確率とトレーニング データに基づいています。

**最新問題: 5**

ITOA に対する AIOps の大きな利点は何ですか？

- A. 大規模なデータセットでも動作します
- B. 過去を理解できる
- C. 未来を予測できる
- D. オペレーションをリアクティブにするのに役立ちます

**Answer: C (メッセージを残す)**

従来のIT運用分析 (ITOA)と比較したAIOps (IT運用のための人工知能)の大きな利点は、将来のイベントを予測できることです。ITOAは過去のインシデントを把握するために履歴データの分析に重点を置いているのに対し、AIOpsは高度な機械学習アルゴリズムを活用し、潜在的な問題を事前に予測します。この予測機能により、プロアクティブな問題解決が可能になり、ダウンタイムを削減し、システムの信頼性を向上させることができます。DevOps InstituteのAIOps Foundationコースでは、この先進的なアプローチが、現代のIT環境にAIOpsを実装する主なメリットとして強調されています。

**最新問題: 6**

次のどれが機械学習の特徴ですか？

- A. 学習には明示的なプログラミングが必要
- B. AIのスーパーセット
- C. 少量の履歴データを使用して正確な推論や予測を生成します
- D. 反復的な最適化を通じて徐々に精度を向上させる

**Answer: D (メッセージを残す)**

機械学習 (ML)は、データから学習し、反復的な最適化を通じて時間の経過とともにパフォーマンスを向上させるアルゴリズムです。明示的な命令をコーディングする従来のプログラミングとは異なり、MLモデルはパターンを識別し、過去のデータに基づいて予測を行い、処理する情報が増えるにつれて精度を高めていきます。

AIOps Foundation コースでは、機械学習のコアテクノロジーを取り上げ、これらのモデルがタスクを自動化し、予測的な洞察を提供することで IT 運用を強化する方法に重点を置いています。

**最新問題: 7**

データ パイプラインはどの段階でデータの重複を排除しますか？

- A. 抽出/収集
- B. エンリッチメント/フィルタリング
- C. クリーニング/統合
- D. ストレージ

**Answer: C (メッセージを残す)**

データパイプラインでは、クリーニングと統合の段階で重複排除が行われます。このプロセスでは、重複レコードを特定して削除することで、データの品質と正確性を確保します。冗長性を排除することで、組織は信頼できる唯一の情報源を維持し、より信頼性の高い分析と意思決定が可能になります。

DevOps Institute の AIOps Foundation コースでは、効果的な分析と運用上の使用のためにデータを準備する際のデータのクリーニングと統合の重要性を強調しています。

**最新問題: 8**

5Vのうち、データ品質、欠落データ、誤検知アラートに関係するものはどれですか？

- A. ボリューム
- B. 速度
- C. 値
- D. 真実性

**Answer: D (メッセージを残す)**

真実性とは、データの品質と信頼性を指し、データの正確性、一貫性、ノイズや誤検知の存在といった問題に対処します。AIOpsの観点では、データの真実性を高めることは、効果的な機械学習と分析に不可欠です。品質の低いデータは、誤った洞察や最適ではない意思決定につながる可能性があるためです。

AIOps Foundation コースでは、信頼性の高い AI 駆動型 IT 運用の構築におけるデータの信頼性の重要性に焦点を当てます。

最新問題: 9

どの AI モデルが人間の物語を模倣できるでしょうか？

- A. ビッグデータ
- B. 大きな言語
- C. 生成的
- D. AIOps

**Answer: C (メッセージを残す)**

人工知能 (AI) の分野では、特定のタスクを実行するためにさまざまなモデルが設計されています。

これらのモデルを理解することは、特にAIOps (IT運用のための人工知能)の文脈において非常に重要です。提供されるオプションの詳細は以下の通りです。

\* ビッグデータ：日々生成される膨大な量の構造化データと非構造化データを指します。ビッグデータ自体はAIモデルではありませんが、AIおよび機械学習モデルの基盤要素として機能し、分析と学習に必要なデータを提供します。

DevOpsインスティテュート

\* 大規模言語モデル：これらは、膨大なテキストデータで学習させ、人間のような言語を理解し生成するAIモデルです。一貫性のあるテキストを生成できますが、主な機能は入力データに基づいて言語を処理・生成することです。生成モデルのサブセットではありますが、人間の物語を模倣できる唯一のモデルではありません。

\* 生成モデル：これらのAIモデルは、与えられたデータセットに類似した新しいデータインスタンスを作成するように設計されています。言語の文脈において、生成モデルは人間のような物語を生成し、人間の物語や会話を模倣することができます。生成モデルには、敵対的生成ネットワーク (GAN) や特定の種類の大規模言語モデルなど、様々なアーキテクチャが含まれます。

\* AIOps: IT 運用に AI を適用してプロセスを強化および自動化することを指します。

AIOps 自体は AI モデルではなく、生成モデルを含む AI モデルを活用して IT 運用を改善する実践です。

DevOpsインスティテュート

したがって、人間の物語を模倣できるAIモデルは生成モデルと呼ばれます。これらのモデルは、人間のような新しいコンテンツを生成するように特別に設計されており、物語の作成を伴うタスクに適しています。

AIモデルとIT運用におけるその応用についてより深く理解するために、DevOps InstituteのAIOps Foundationコースでは、生成モデルを含むAIを組織のフレームワークに統合してIT運用を強化する方法について包括的な洞察が提供されます。

#### 最新問題: 10

ITプロフェッショナルがオペレーティングシステムで効果を上げようとする最も切迫した理由は何ですか？

- A. ますます高まるユーザーの期待
- B. 人員削減のリスク
- C. 常に変化するIT環境
- D. 合併と買収

**Answer:** ([解答を表示する](#))

ITプロフェッショナルは、ユーザーの期待がますます高まる中で、オペレーティングシステムの効率性向上に努めています。今日のユーザーは、シームレスで高性能、そして信頼性の高いデジタルエクスペリエンスを期待しています。

こうした期待に応えるには、IT運用部門はAIOpsなどの高度なツールと手法を導入し、システムパフォーマンスの向上、稼働率の確保、そして問題の迅速な解決を実現する必要があります。AIOpsを導入することで、組織はIT運用をプロアクティブに管理し、ユーザーニーズを予測し、優れたサービス品質を提供できるようになり、現代のユーザーの高い期待に応えることができます。

急速に進化する今日のデジタル環境において、ITプロフェッショナルはオペレーティングシステムの熟練度を必要とする数々の課題に直面しています。これらの課題の中で最も差し迫った理由は、ユーザーの期待がますます高まっていることです。

ユーザーの期待を理解する:

今日のユーザーは、シームレスで効率的、そして途切れることのないデジタル体験を期待しています。この期待は、Webアプリケーション、モバイルアプリ、エンタープライズソフトウェアなど、様々なプラットフォームやサービスに及んでいます。ダウンタイム、遅延、非効率性はユーザーの不満につながり、ビジネスや評判の失墜につながる可能性があります。

IT運用への影響:

こうした高い期待に応えるために、ITプロフェッショナルは次のことを行う必要があります。

\* システムの信頼性の確保: 一貫した稼働時間を維持し、システム障害に迅速に対処します。

\* パフォーマンスの最適化: システムパフォーマンスを継続的に監視および強化し、高速で応答性の高いユーザーエクスペリエンスを提供します。

\* 強力なセキュリティ対策を実装: ユーザーデータを保護し、プライバシーを確保して信頼を構築および維持します。

ユーザーの期待に応える AIOps の役割:

IT運用のための人工知能 (AIOps) は、ITプロフェッショナルがユーザーの期待に応え、それを上回る成果を上げる上で重要な役割を果たします。AIOpsを活用することで、組織は以下のことが可能になります。

\* 監視とインシデント対応の自動化: 機械学習アルゴリズムを利用して異常を検出し、問題に積極的に対処することで、ダウンタイムを最小限に抑え、ユーザー満足度を向上させます。

\* 潜在的な問題を予測して防止する: 履歴データを分析して潜在的なシステム障害を予測し、予防策を実施します。

\* リソース割り当ての最適化: パフォーマンスを低下させることなく、さまざまなユーザー負荷を処理するためにシステム リソースが効率的に利用されるようにします。

DevOps Institute AIOps Foundation からのサポート参考資料:

DevOps InstituteのAIOps Foundationコースでは、現代のIT運用においてユーザーの期待に応えることの重要性を強調しています。AIOpsによって、AIと機械学習を活用し、組織が複雑なITインフラストラクチャを管理し、ビジネス成果を向上させる方法に焦点を当てています。具体的には、運用パフォーマンスの向上、リアルタイムのインサイトの提供、プロアクティブな監視と予測分析の実現などが挙げられます。

さらに、本コースでは、デジタルトランスフォーメーションと機械学習の進化が、今日のIT運用環境に不可欠なツールとしてAIOpsの台頭をもたらした経緯についても解説します。AIOpsを理解し、実装することで、ITプロフェッショナルは、ますます高まるユーザーの期待に応えるための課題に効果的に対処できるようになります。

結論として、絶えず変化するIT環境、人員削減のリスク、合併・買収といった要因は重要ですが、ITプロフェッショナルがオペレーティングシステムに精通する必要がある最も切実な理由は、ますます厳しくなるユーザーの期待に応えることです。AIOpsによって強化されたオペレーティングシステムの熟練度により、ITプロフェッショナルはユーザーが求める信頼性、パフォーマンス、そしてセキュリティを提供できるようになります。

#### 最新問題: 11

MLOps について説明しているのは次のどれですか?

A. IT運用への人工知能の適用

B. 機械学習モデル開発へのCI/CD、テスト、開発ライフサイクルの加速化の実装

C. 分析と推論を通じて人間のように考え、複雑なタスクを実行するソフトウェア

D. すべてのAIおよび意思決定モデルのガバナンスとライフサイクル全体の管理に主に焦点を当てた機能セット

**Answer: B (メッセージを残す)**

MLOps (機械学習運用は、継続的インテグレーションと継続的デプロイメント CI/CD) などのDevOpsの原則を機械学習モデルの開発とデプロイメントに適用します。このアプ

ローチは、自動化、テスト、合理化されたワークフローを重視し、機械学習ライフサイクルを加速することで、モデルの信頼性、再現性、そして本番環境における保守性を確保します。

AIOps Foundation コースでは、AIOps と MLOps の関係について説明し、これらのプラクティスを統合することで IT 運用を強化できる方法を強調します。

#### 最新問題: 12

AIOps とは何の略ですか？

- A. 人工知能オペレーション
- B. IT運用における人工知能
- C. IT運用における拡張インターフェース
- D. DevOpsにおける人工知能

**Answer: B (メッセージを残す)**

AIOpsは「IT運用における人工知能 (Artificial Intelligence in IT Operations)」の略です。これは、人工知能 (AI) と機械学習 (ML) 技術をIT運用の様々な側面に適用し、強化・自動化することを指します。AIOpsプラットフォームは、ビッグデータ分析を活用することで、ITシステムによって生成される膨大なデータを分析し、パターンの特定、異常の検知、運用上の問題への対応の自動化を実現します。

DevOps InstituteのAIOps Foundationコースでは、AIOpsがビッグデータと機械学習を組み合わせ、イベント相関、異常検知、因果関係判定といったIT運用プロセスを自動化することに重点を置いています。この統合により、ITチームは複雑なIT環境をプロアクティブに管理し、システムパフォーマンスを向上させ、ダウンタイムを削減できるようになります。

AIOps の実装には、いくつかの重要なステップが含まれます。

- \* データ集約: ログ、メトリック、イベントなど、さまざまな IT 運用ソースからデータを収集して集約します。
- \* データ分析: 機械学習アルゴリズムを適用して集約されたデータを分析し、潜在的な問題を示唆する可能性のあるパターンと異常を特定します。
- \* 自動応答: AI 主導の洞察を活用して、アラートのトリガー、修復スクリプトの実行、システム構成の調整など、検出された問題への応答を自動化します。
- \* 継続的な改善: フィードバックと進化するデータ パターンに基づいて AI モデルと運用プロセスを定期的に改良し、AIOps ソリューションの有効性を高めます。

これらの手順に従うことで、組織はよりプロアクティブで効率的な IT 運用管理アプローチを実現し、IT サービスの信頼性とパフォーマンスを向上させることができます。

詳細については、DevOps Institute の AIOps Foundation コースの資料を参照してください。

#### 最新問題: 13

AIOps 実装の潜在的な成果は何ですか？

- A. 操作を簡素化

- B. コストを削減し、無駄をなくす
- C. 組織にとっての価値を継続的に向上させる
- D. 上記のすべて

**Answer: D (メッセージを残す)**

AIOps 実装の潜在的な成果は次のとおりです。

- \* 日常的なタスクを自動化し、手動による介入を減らすことで操作を簡素化します。
- \* リソースの有効活用と運用効率の向上により、コストを削減し、無駄を排除します。
- \* プロアクティブなデータ主導の意思決定を可能にすることで、組織に対する価値を継続的に向上させます。

DevOps Institute は、IT 運用に AIOps を導入する主な推進力としてこれらの利点を強調しています。

#### 最新問題: 14

SLA は AIOps とどのように関係しますか？

- A. AIOps は、IT 運用の速度と機能を全体的に向上させることで、リスクを軽減し、SLA ターゲットを改善します。
- B. AIOpsはSLAドキュメントの生成を自動化します
- C. AIOps は SLA で定義する SLO を示します
- D. AIOpsとSLAの間には関係がありません

**Answer: A (メッセージを残す)**

サービス レベル アグリーメント (SLA) は、IT サービスの期待されるパフォーマンスと可用性の標準を定義します。

AIOpsは、IT運用のスピードと能力を向上させることで、SLA目標の達成とそれを上回る能力を強化します。ビッグデータ分析と機械学習を統合することで、AIOpsはリアルタイム監視、迅速な問題検出、自動対応を可能にし、ダウンタイムの削減とサービスの信頼性向上を実現します。このプロアクティブなアプローチは、SLA違反に関連するリスクを最小限に抑え、ITサービスが合意されたパフォーマンス基準を常に満たすことを保証します。

**Valid AIOps-Foundation Dumps** shared by GoShiken.com for Helping Passing AIOps-Foundation Exam! GoShiken.com now offer the **newest AIOps-Foundation exam dumps**, the GoShiken.com AIOps-Foundation exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com AIOps-Foundation dumps with Test Engine here: <https://www.goshiken.com/Peoplecert/AIOps-Foundation-mondaishu.html> (42 Q&As Dumps, **30%OFF Special Discount: Freepdfdumps**)